

## 一般質問

Q&A



わたなべ  
たくま  
議員  
国民民主党出

国民民主党出



質問の様子は  
こちら！

### 小中学校運動会について

**Q** 運動会で来賓席が一番見やすい場所にあるが、保護者のために来賓席を廃止するか、場所を移動してはかがか。

**A** 来賓席については、全ての小中学校において設置しており、学校運営協議会委員をはじめ、日頃から学校教育活動を支えていただいている地域の方々などに御案内しており、指揮台に近い正面付近に設置しています。

一方で、各学校では保護者の皆様が児童生徒の活動を見やすいよう撮影スペースを設けるほか、体が不自由な方、妊娠されている方、赤ちゃん連れの方などが優先的に入れる思いやりテントを設置するなど、観覧環境の充実にも努めています。

市教育委員会としては、来賓席の在り方や設置については、各学校の実情を踏まえながら、学校運営協議会やPTA、地域の皆様と協議・検討するよう学校へ周知し、より多くの方が気持ちよく運動会を参観できる環境づくりに努めていきます。

(教育長)

### 動物愛護について

**Q** 飼い主のいない猫の不妊去勢手術はクラウドファンディングを財源としている。市が追加で負担し、頭数制限を引き上げることができると思うが、いかがか。

**A** 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金はクラウドファンディングによる寄附金の範囲内で、より多くの地域に活用いただけるよう、一定の頭数制限を設けています。クラウドファンディングによる寄附金を原資としているのは、これまでのところ寄附金の範囲内で補助制度を運営することができているためです。

また、飼い主のいない猫については、周辺の生活環境が損なわれる事態が生ずる恐れがある場合、県が引き取る等の対応を行うこととなっており、飼い主のいない猫の不妊去勢手術の補助金として、市税等を補助金の財源に充てていません。

今後については、クラウドファンディングによる寄附金を原資としながら、より効果的な補助制度となるよう、頭数制限の引上げの実施に向けて、調整を進めていきたいと考えています。

(健康福祉部長)

### 人口減少対策について

**Q** 本市にUターンする学生の奨学金返済に一部補助を行うなど、今後考えられるUターン促進のための施策を伺う。

**A** 若者のUターンを促進するためには、本市の魅力や進捗するまちづくりに関する情報を発信し、SNSなどを通じて転出者となつながらを持ち続け、帰りたいと思ったときにいつでも受け入れられ、自分らしく挑戦できる地域コミュニティの土壌を平時から育んでおくことが、若者を呼び戻す鍵になると考えています。

今後予定している「Uターンプロジェクト」の実施に際しても、「過性のイベントとするのではなく、参加者に市公式LINEの友達登録を促すなど、継続的に情報発信ができるよう考えています。

Uターンする学生への奨学金返済の一部補助については、大変有効な施策の一つであると認識しています。県や他市の状況等も踏まえながら、本市にとって効果的な実施方法について、前向きに検討していきます。

(副市長)



おがさわら ひろし  
議員  
国民民主党出



質問の様子は  
こちら！

**Q** 人口減少社会の進行を見据え、本市の将来をどのように描き、人口減少対策及び若者の流出対策にどのような決意を持って取り組んでいくのか。子育て支援や住環境整備、移住・定住促進などの観点で市長の思いを伺う。

**A** 住環境の整備に当たっては、空き家対策が重点課題であり、本年度は、空き家利活用をミッションとした地域おこし協力隊を新たに募集し、対策をさらに加速していきます。

子育て支援については、給食費の無償化をはじめとする経済的な支援にとどまらず、公園整備による親子の交流・居場所づくりや、学校施設の再編整備など、教育・生活環境の充実を推し進め、子育て世代に選ばれる町を実現していきます。

移住・定住の促進については、地域おこし協力隊による移住ポータルサイトの運営や、情報誌「VECTOR」の発行といったプロモーションを強化しています。人口減少対策及び若者の流出対策は、町の魅力と価値を高め続けることが本質であると考えており、中心市街地活性化公民連携事業を主軸に、引き続き戦略的かつ総合的に取り組んでいきます。

(市長)